

県がインフル注意報

県内でインフルエンザの流行が広がっているとして、県は8日、インフルエンザ注意報を出した。手洗

いのほか、せきやくしゃみをする時にティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそむける「せきエチケット」を呼び掛けている。

保健予防課によると、12月中旬に流行期に入り、患者数が増加。第1週（12月

31日～1月6日）の1医療機関当たりの患者報告数は県全体で11・93人となり、発令基準の10人を超えた。

保健所の管轄別では安中の19・33人が最も多く、岡16・67人、吾妻と利根沼田が各15人で続いた。今シーズンはA型の患者が多いのが特徴で、発令時期は例年並みという。

同課は「子どもや高齢者、基礎疾患がある人は重症化

しやすい。特に体調管理に気を付けてほしい」としている。